

I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立青森第二養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input checked="" type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	「ひととつながろう」～キャリアパスポートをかこう		
	単元(題材)の目標	好きな人や友達、教師などの名前を書く。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学	部	3 年 3 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<p>学級の児童は、3人とも明確な発語がないため、写真やイラストのカードを使ってコミュニケーションを図っている。教師が児童の指差しや視線、表情などの表出を読み取るなどして、児童の考えや気持ちの表現を捉えている。</p> <p>活動を繰り返し行うことで、見通しをもち活動に取り組むことができる。</p>		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	パソコン、プロジェクター		
	使用したアプリケーションの名称	パワーポイント		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
I C T 活用のねらい	<p>選択場面においては、投影型のプロジェクターを使用することで、投影されている画面の写真やイラストを児童が見やすい位置や大きさで提示することができる。また、本人がスクリーンの前に出て選択・回答する場を発表場面とすることで、児童の負担を軽減できると考えた。また、パワーポイントを用いることで、児童は提示された写真を見比べたり、前のスライドに戻って再確認したりすることができる。</p>			
活用の状況と支援	<p>好きな人を選ぶ場面で、家族や先生、友達の写真を提示した。児童はそれらを見比べて、指差しや視線で好きな人を選ぶことができた。初めて行ったときには、すぐに答えることができなかった児童も、友達が行っているのを見た後、最後にもう一度スクリーンに写真を提示すると、自分からスクリーンに向かい、写真の中からどれを選ぶのか手を伸ばすように支援すると、複数の写真に顔を近づけたり、手で触ったりして好きな人を選ぶことができた。</p>			